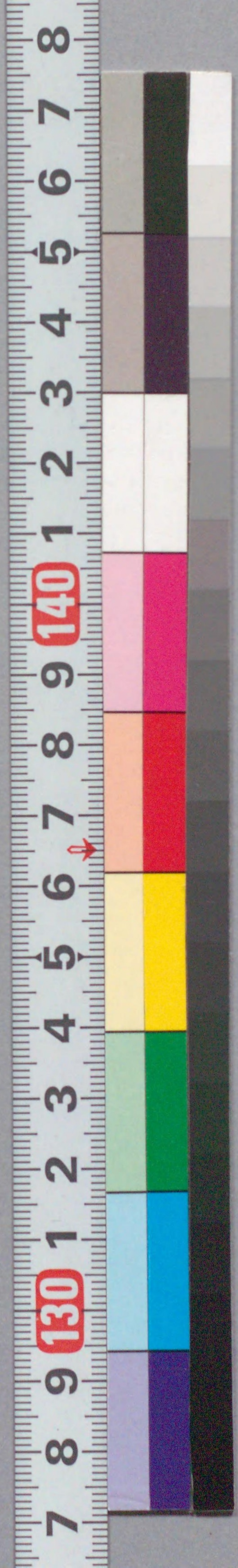


市土産於多福神

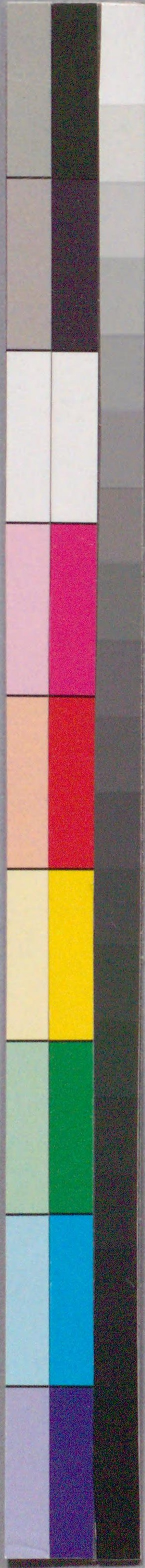
207
318



市土産

定政書

207
318





福神

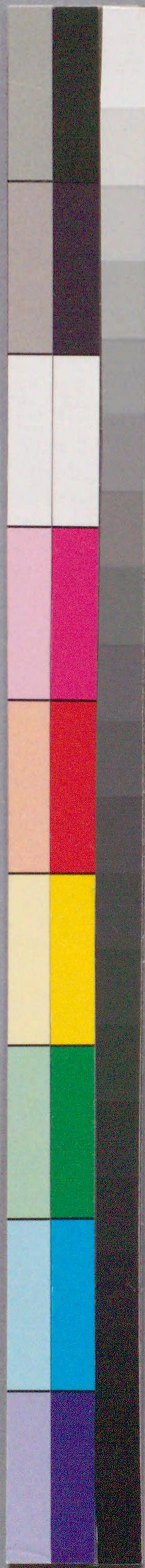
福壽州時めく春乃あしも福神双六の楽声きき
 仰くたる目出さば代よ居らむ若くは喰つる
 お中め乃ききにまじりて年と出を裁他の特
 是を酒平かきやで福のうを何れもききなん
 と赤幸にきき書くたる花咲ちりて香きり
 吉くせんをうい川せんその古ひ志やうを強
 のうに深くし徳あてがひ乃しきものでなく
 標さのりりあししは正おきくま正月その
 おまらぬこのお徳よむらありまひうたふと中
 本標の本め金の本にんし志やういんの物そし
 ちもねと妙の額のりそそ筆を耕りたるあり

石上

春



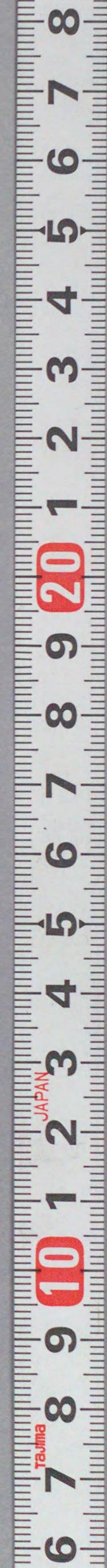




国立国会図書館 市土産於多福神 : 2巻 207-318

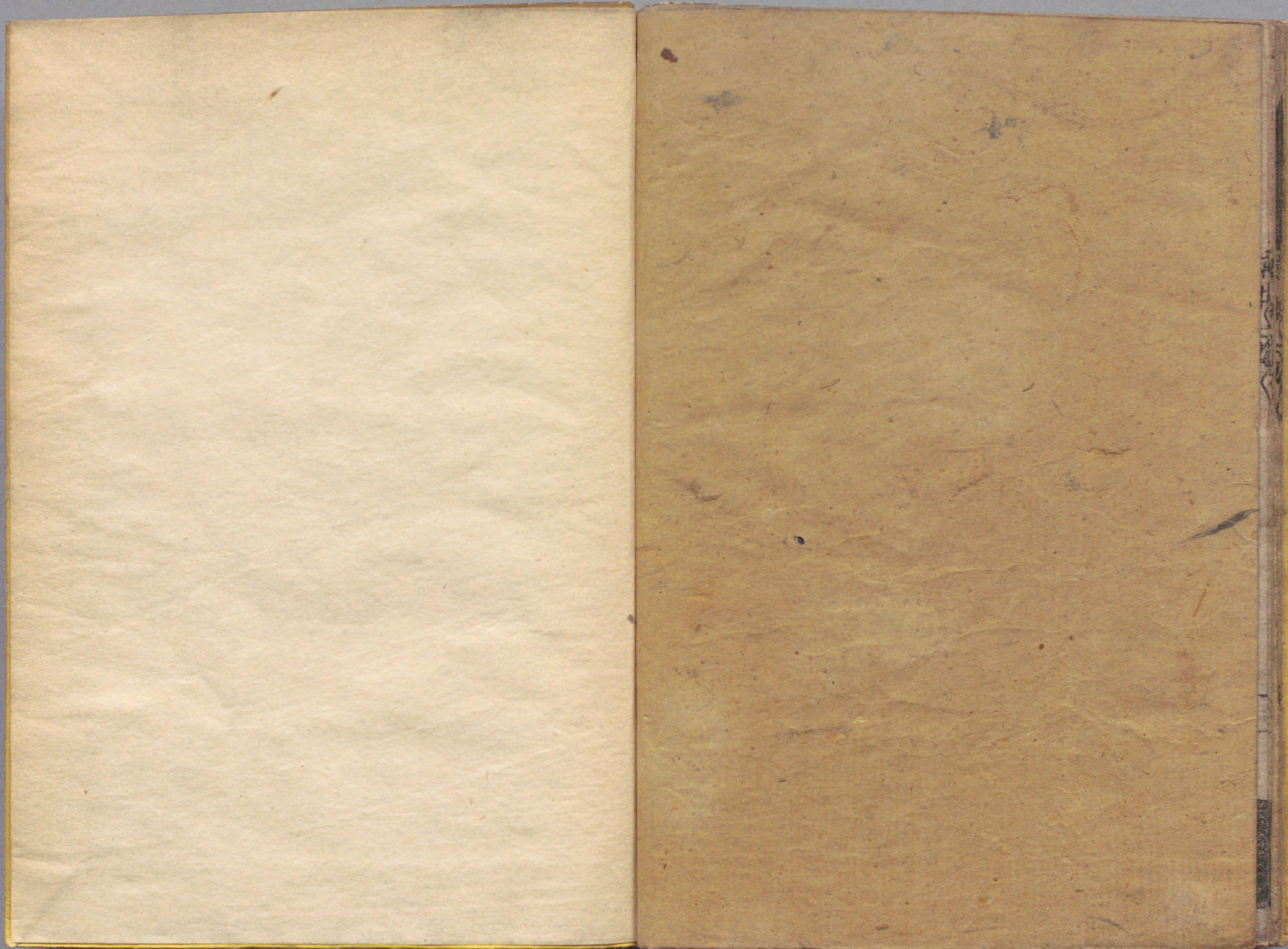
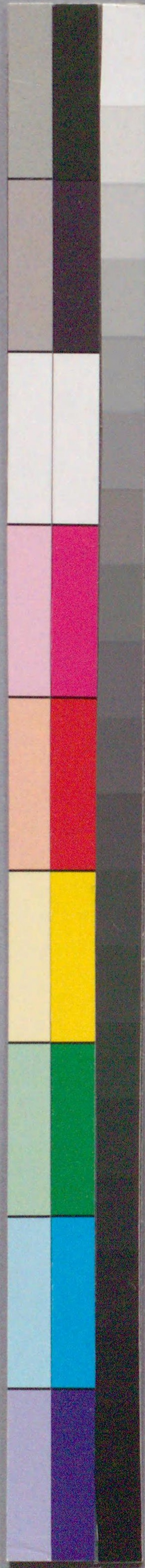
ガラス使用

武家



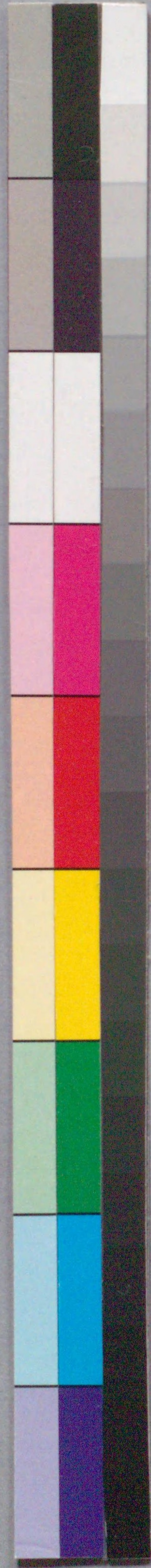




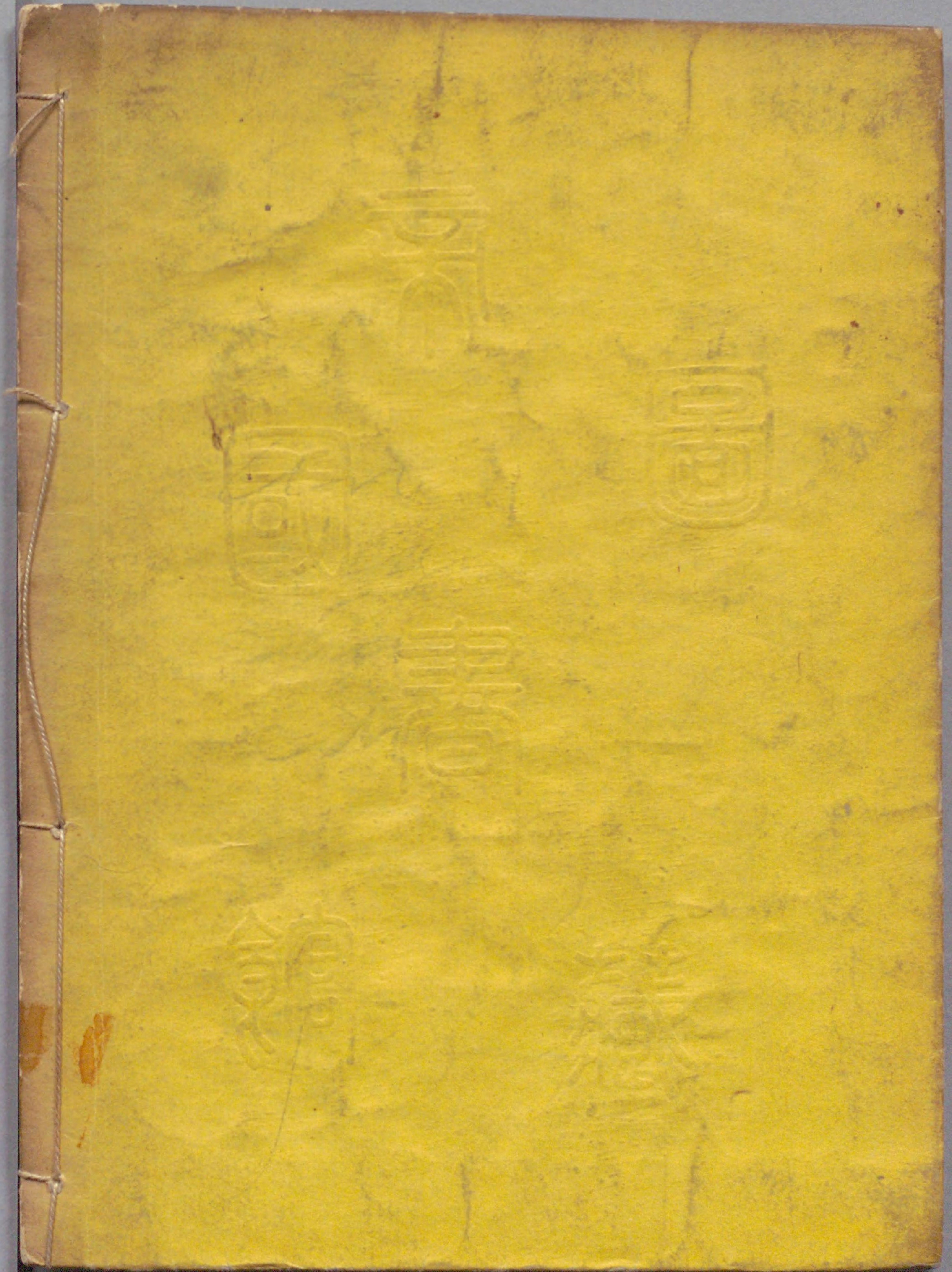


国立国会図書館 市土産於多福神：2巻 207-318

ガラス使用



国立国会図書館 市土産於多福神 : 2巻 207-318



ガラス使用

